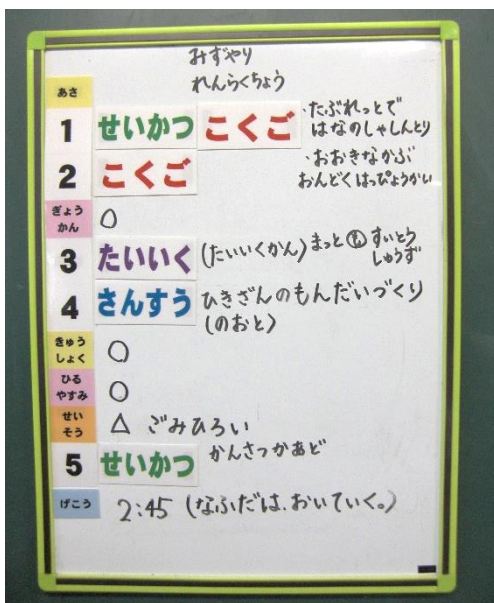


# 特別支援教育だより

石橋小学校 R3. 7月

石橋小学校では、「安心感と分かりやすさ」を合い言葉に学校全体で特別支援教育を進めています。通常の学級でもいろいろな取り組みがなされていますが、次にいくつかの例を紹介します。



各教室の前面には、一日の予定を記した「スケジュールボード」があります。学校生活では、毎日のようにいろいろな催しが入り、時間割の変更が多いものです。

「3時間目は体育だから、朝のうちに着替えよう。」「今日は清掃がないから、たくさん遊べるよ。」と次を見通して、落ち着いて生活するのに役立っています。低学年では、時計の文字盤で、活動の終わりの時間を示すなど「見通し」を大切にしています。

また、各教室にレターケースを置いて、子供たちが必要な用紙をすぐに取りれるようにしています。「国語のノート

を忘れました。紙をもらいます。」と断れば、皆と同じノートが使えます。「休みの子に明日の予定を知らせるよ。」と自主的にお知らせを書いてくれる子もいます。中には「お助け文房具」を用意しておいて、消しゴムや赤鉛筆など、忘れた子に貸し出している学級もあります。



さらに、月に1回「クリーンタイム」を設けて、全校で机やロッカーの中を整理する時間をとっています。これは、学習に必要な物をなくしてしまったり、出すのに時間がかかったりすることを減らし、学習への取りかかりをスムーズにするのに役立っています。毎月1回時間を取ることで、片付けに慣れて、手早く片付けられる子も多くなってきました。

これらはどれも、特別な支援が必要な子だけでなく、全ての子供たちが安心して生活できるようにするための手立てです。今後もこうした活動を紹介していきます。